

岩手県内小学校教員の皆様
サッカー指導に興味のある皆様

平成30年1月15日
公益財団法人日本サッカー協会
小学校体育サポートプログラム インストラクター
瀬谷 圭太（岩手県サッカー協会キッズ委員長）

小学校体育サポート研修会（サッカー）サンビレッジ紫波開催のお知らせ

新春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてこの度は「小学校体育サポート研修会」を開催したいと思い、案内を展開させていただきました。

公益財団法人日本サッカー協会が推奨する、小学校の学習指導要領に沿った体育授業サポート研修会を、より多くの先生に受けていただければと思います。特に体育や、運動の苦手な先生にこそ受けていただきたい研修会です。あくまで、「外部のコーチが来てサッカーをしてくれた」ではなく、今お子さんを受け持ちの先生方ご自身が、サッカーの授業を、学級運営を楽しんで行ってもらうための研修会です。これまで受講していただいた多くの先生からは、サッカーのみならず学級運営のいろいろな局面で、この研修会で受けた内容を活かせると多数の意見をいただいています。

この研修会は、①実技60分 ②講義30分で構成されています。

①実技

先生方ご自身に、サッカーの楽しさ、運動の楽しさを「これなら出来る！」という手応えを感じていただきたいと思います。先生方が楽しいと感じていただくことが「楽しい授業」を行う、一番のポイントだからです。

②講義

実際の授業を組むうえでのポイントや、単元の狙い、領域目標、学年目標など、学級運営、児童の発育発達に則したプログラム全体の考え方をお伝えします。

～ 記 ～

- ◆開催日時：平成31年2月16日（土） 10:00～12:00（受付9:30～）
- ◆開催場所：サンビレッジ紫波 軽運動室およびアリーナ
住所：紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目1-1 TEL：019-681-8010
- ◆講師：瀬谷圭太（せやけいた）小学校体育サポートプログラム インストラクター
公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員長
キッズリーダーインストラクター
- ◆参加対象：小学校教員（小学校教員免許状を取得している方を含む）
小学生のサッカー指導に興味のある大学生・専門学校生・高校生
サッカー指導に興味のある方
- ◆定員：30名（定員を超えた場合には検討します。）
- ◆持ち物：体育館シューズ 筆記用具（ボールや用具はこちらで用意します）必要に応じて水など
- ◆参加費：500円
（希望者にはテキストを斡旋します（2160円）希望者は当日代金を持参下さい。）
- ◆申し込み：受講希望の方は、2月8日（金）までにメールで申し込みをしてください。
申し込みアドレス k_seya@nth.biglobe.ne.jp（担当 瀬谷アドレス）
記入項目①名前 例：①瀬谷圭太
②所属
教員の方：現在の所属校 例：②〇〇市立〇〇小学校
一般の方：勤務先、学校名。 例：②〇〇大学など
③連絡のつく電話番号と電話の宛先 例：③090-7078-1715（携帯）
④テキスト希望するかどうか 例：④テキストほしいです。
⑤その他 何かあればお書き下さい。例：⑤
- ◆趣旨概要等：裏面を参照ください。

～本件に関する問い合わせ先～

公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員長 瀬谷圭太
携帯 090-7078-1715（18:00～20:00）
メール k_seya@nth.biglobe.ne.jp

1 【開催趣旨】

小学生にとって、体育は大好きな教科の一つです。男子児童の「将来なりたい職業ランキング」でも常に上位に入り、なでしこジャパン（女子サッカー日本代表）が世界一になりました。しかし、体育でのサッカーでは苦手と感じる子や、さらにスポーツ自体も敬遠しがちな子が少なからずいることも事実です。

また、体育の授業を指導する先生方ご自身が、スポーツ経験が少なかったり、クラス内の子どもたちに技能差が大きかったりするような場合、「サッカー授業の難しさを感じる」という声もよく聞かれます。

サッカーは、学校体育の教材として長く親しまれ様々な長所を持つチームゲームです。心と身体の成長期にサッカーに触れてもらう機会があることは、とてもありがたいことであり体育の教材としてより有効に活用していただきたいと考えています。小学校では、専科として体育を行うわけではなく多くの教科を担当する中での教材研究には、大変なご苦労があることもお聞きしています。

そこで、少しでも体育授業のお役に立てればと思い、外部からコーチがサッカーを教えに来る巡回指導とは異なる概念で、今クラスをお持ちの先生方ご自身が授業をするためのサポートとして、**教本の作成と研修機会の創出を主にした内容**を考案しました。

2 【教本内容】（希望者に斡旋する教本）

体育授業の枠組み（人数、場所、時間数）の中で、6～8回の授業の展開を年代ごとに具体的に示しています。

- (1) 効果的に効率よく授業を進めるためのポイント
- (2) 発育に合わせた課題の設定と目の前の子ども達に合わせた発展、声かけのポイント
- (3) 評価の観点
- (4) 1時間を組み立てるためのポイント
- (5) 学年の単元を構成する考え方

ゴールを想定した、逆算の考えからクラス全体でサッカーの授業を毎時間楽しみ、小さな学びを重ねていただければと思います。先生も子どもたちも、生涯にわたり、サッカー、そしてスポーツを楽しみ、応援していただけるようになることを願っています。



←希望者に斡旋するテキストです（2160円）。
元文部科学省調査官も推薦しています！

*当日、資料はお配りしますが、教本内容のコピー配布は行いません（著作権の関係）。ご了承下さい。

3 これまでの取り組み（経緯）

学習指導要領に沿った形で小学校でのサッカー教材を検討しました。サッカーの指導が苦手とされる先生方への支援に重きを置いた、効果的かつ効果的に指導できる教材を作成。

実際に作り上げた教材を用いて、体育を専門としない小学校の女性の先生を中心に研究授業を実施していただき、児童の反応や先生方の気づきを参考に、改良を加え実際に先生方を対象とした小学校での校内研修会も開催しました。

2014年出来上がった教材をもとに、全国47都道府県から現役小学校教諭の方にインストラクターになっていただくべく研修会を実施。実際インストラクターになった方々が、地元へ帰り市区町村の教員研究研修や、自身の学校での研修で行って頂いています。

受講された先生方からは、「サッカーの研修会だけど他の種目でも使える」、「逆算の考え方は、国語や算数でも当てはまりますね」「サッカーの授業は正直苦手でしたが子どもたちが率先して考え行動するようになったので、ちょっとびっくりしました」との声を頂いています。

★★★公益社団法人岩手県サッカー協会より★★★

- ① 開催実績 胆江地区小学校体育研究会（2015年7月）参加者18名（講師：瀬谷圭太）
サンビレッジ紫波で開催（2017年1月 2018年1月）参加者合計10名（講師：瀬谷圭太）
- ②キッズとは 4年生以下の子どもたちのサッカーのカテゴリーを「キッズ」としています。
- ③その他 全国展開されている事業です。
受講時のケガについて、応急措置を行います。主催者はその責を負いかねます。
各自スポーツ保険等に加入の上ご参加ください（すみませんが各自の責任でお願いします）。